

令和6年産国内産農産物の銘柄設定等意見聴取会議事録（茨城県）

- 1 開催日時：令和5年12月5日（火） 13：30～14：40
- 2 開催場所：関東農政局茨城県拠点別館3階会議室
- 3 出席者：

(行政機関)	茨城県農林水産部産地振興課係長	秋田 和則
	主事	下山田 彩花
(学識経験者)	茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室主席研究員	中原 正一
(関係機関)	公益社団法人茨城県農林振興公社 穀物改良部部长	信田 正昭
(生産者団体・登録検査機関)	全国農業協同組合連合会茨城県本部米穀総合課長	片野 敦司
	米穀部米穀総合課技術顧問	益子 善文
	茨城県食糧集荷協同組合業務部部长	五位渊 栄
(実需者団体・登録検査機関)	茨城県食糧販売協同組合業務部常務理事	土田 敏幸
(登録検査機関)	アイアグリ関東株式会社米事業開発部チーム長代行	田島 巨樹
(申請者)	住友化学株式会社アグロ事業部コメ事業推進部開発	
	普及チームリーダー	福地 淳
	普及担当 兼 推進チーム	前田 道弘
(関東農政局)	生産部生産振興課検査技術指導官	剣持 広幸
	生産部生産振興課備蓄米等振興係長	島田 寛
(関東農政局茨城県拠点)	総括農政業務管理官	浅川 純朗
	主任農政業務監理官	望月 弘樹
	行政専門員	富田 和朗

4 議事

司会：浅川

定刻となりましたので只今から、令和6年産茨城県産農産物の銘柄設定等意見聴取会を開催いたします。

本日司会を務めます関東農政局茨城県拠点の浅川と申します。よろしくお願いたします。

はじめにお断りをしておきますが、本意見聴取会における検討の結果について、議事録又は議事要旨を作成し、関東農政局のホームページに公表いたします。そのためにご発言内容を録音させていただきますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

なお、議事録又は議事要旨を公表する前に内容をご確認されたい方がおりましたら、後ほど申し出て下さい。

続いて、お手元に配付しております資料の確認をお願いしたいと存じます。

(別途資料の確認)

それでは、お手元の議事次第に従いまして進めさせていただきます。

本日の意見聴取会にあたりまして、関東農政局生産部生産振興課剣持検査技術指導官よりご挨拶を申し上げます。

関東農政局：剣持
(あいさつ)

司会：浅川

本日の意見聴取会を円滑に進めるため、座長を選出したいと存じます。また議事録又は議事要旨を作成するため書記も選出したいと存じますが、座長及び書記の選出につきましては、事務局にご一任いただければと思いますが、いかがでしょうか。

出席者一同
異議なし。

司会：浅川

座長に関東農政局生産部生産振興課剣持検査技術指導官を、関東農政局茨城県拠点の望月主任農政業務管理官を書記として、議事を進めたいと存じますので、よろしく願いいたします。

座長：剣持

只今、座長の指名を受けました関東農政局生産部生産振興課の剣持です。円滑な議事の進行につきまして、皆様のご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。
それでは、次第4の(1)「趣旨説明」について事務局から説明願います。

【(1) 趣旨説明】

事務局：島田

(農産物検査に関する基本要領の抜粋(資料1、資料2)に基づき趣旨説明)

令和6年産の銘柄設定等の手続については、関東農政局ホームページに掲載し、令和5年10月2日から10月31日の間に銘柄設定等の要望について受付を行いました。

その結果、産地品種銘柄の選択銘柄として、住友化学株式会社様から、水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米の「ICS6号」についての設定申請がありました。

なお、意見聴取会には、皆様の同意を得て申請者に同席いただいておりますので、ご了承願います。

後ほど、申請者から申請理由等を説明していただきます。

本日の意見聴取の結果は、農林水産省農産局長へ報告いたします。

農産局長は、申請により銘柄の設定等を行う必要があると認めた場合は、3月末までに、農産物規格規程の改正手続を行い、農林水産省告示が行われます。

以上でございます。

【(2) 銘柄設定等の申請について】

座長：劍持

次第４の（２）「銘柄設定等の申請について」、「ICS 6号」の申請者である住友化学株式会社の福地様から申請書の様式第１－１号に沿いまして、ご説明をお願いいたします。

住友化学株式会社：福地

（銘柄の設定等申請書（様式第１－１号）に基づき、「ICS 6号」の申請内容について説明）

座長：劍持

登録検査機関であるアイアグリ関東株式会社の田島様から様式１－４号に沿いまして品種鑑定上の特徴等についてのご説明をお願いします。

アイアグリ関東株式会社：田島

（銘柄鑑定に関する報告書（様式１－４号）に基づき、「ICS 6号」の品種鑑定上の特徴について説明）

座長：劍持

続きまして、（３）「銘柄設定等に対する意見聴取について」に移ります。関東農政局では、申請内容及び意見聴取会の日程をホームページに掲載し、11月6日から11月30日の間、意見を募集しました。その結果について事務局からお願いします。

事務局：島田

意見募集につきましては、関東農政局ホームページにて募集したところ意見はございませんでしたので、この場にお集まりの皆様からご意見を賜りたいと存じます。

また、現物の試料を用意しておりますので実際に銘柄鑑定ができるか、銘柄鑑定にあたり疑問点はないか等を確認していただきたいと存じます。

座長：劍持

只今、事務局から現物の試料を確認し、意見を聞きたい旨提案がありましたので、展示している現物を確認していただきたいと存じますが、まず試料の産地を確認します。

「ICS 6号」の試料の生産地は茨城県のどこの地域になりますか。

住友化学株式会社：福地

生産地は茨城県の稲敷市です。

座長：劍持

それでは現物試料の確認をお願いしますが、確認にあたり、展示されている試料が申請書に記載されている特徴が出ているかどうか、農産物検査の規格規程の規格に当てはまるかどうか確認していただき、その結果について後ほど農産物検査員の方を中心にご意見をいただきたいと存じます。

[展示してある現物の試料の確認 (約 15 分)]

【(3) 銘柄設定等に対する意見聴取】

座長：劍持

現物の試料もご確認いただきましたので、銘柄設定に対する意見聴取ということで皆様からご意見をお伺いしたいと存じます。

まず、展示品をご確認いただいた結果、品種の特徴が出ており銘柄鑑定が出来るか、農産物検査の規格規程の規格に当てはまるかについて、お聞きいたします。

全国農業協同組合連合会茨城県本部の益子様いかがでしょうか。

全国農業協同組合連合会茨城県本部：益子

品位の判定は今日並べていただいた品物はおそらく比較的良いものの中の方だと思いますので、良いもの悪いものを見てないので何とも言えないところはありますが、おそらく品位鑑定はできるのであると思います。

ただ、やはり親に「とよめき」も入っていますし、今年のような暑い天気の場合、乳白粒、あるいは背白粒、この報告書にもありますが乳白粒が多いとあるので、そこは少し心配ではありますが、品位の鑑定はできると思います。

銘柄判定ですが、報告書にあるように長円形で「コシヒカリ」と比べるとやや長いという風に書いてありますが、私のイメージしたよりは「コシヒカリ」と差は出ていないという風には思います。「コシヒカリ」と粒形は違うという風には私は思いますので、今年の「コシヒカリ」があまり良くないということも踏まえても、銘柄鑑定は出来るとは思いますが、何かもう少し対象品種の「コシヒカリ」も新しい「ICS6号」も、もう少し正常にできたものを見てみたいという風に思いました。今年の猛暑の中で出来た品物なので見づらかったですけれども、銘柄鑑定は出来るのではなからうかと思えます。

座長：劍持

茨城県食糧集荷協同組合の五位渕様いかがでしょうか。

茨城県食糧集荷協同組合：五位渕

サンプルを見ると、何か「コシヒカリ」の方が悪いなと言う感じに見られます。品種の特性としていろいろ報告書に記載されておりますが、もっと気候の良いときとか品物が良いものを見ればはっきりわかるのかなと思います。このサンプルではちょっと見づらいのかなと思います。ただ、大きさが若干「コシヒカリ」より大きいのかなと言うような感じはしましたが、実際の現場において判定していくとなるとかなり難しいなと言うような感じがしました。

座長：劍持

茨城県食糧販売協同組合の土田様いかがでしょうか。

茨城県食糧販売協同組合：土田

今回の比較した「コシヒカリ」は、今年は品質的には乳白粒が多かったと、それと比べると報

告書に記載されておりますように「コシヒカリ」と比べると多いと記載されておりますが、その辺はちょっとクエスチョンマークが付くのかなと。来年は比較的天候に恵まれればその辺を良く見ていただければと思います。粒形に関しては長形が比較的に見られるという形で益子さんが仰ったように出来るであろう、出来るって言うまでの断定は今のところは出来ないと言う感じはしております。

座長： 劍持

「ICS6号」について、今年の猛暑の影響で比較のコシヒカリについてもあまり良いものでなく中々見づらい中でも、銘柄鑑定は可能であること、農産物規格規程に定める品位規格の適用は可能であろうとのご見解をいただきました。

銘柄鑑定及び品位規格の適用につきまして、他の方から何かご意見やご見解はございますか。

無いようですので、「ICS6号」について、銘柄鑑定は可能であること、農産物規格規程に定める品位規格の適用が可能であると確認させていただいたということにいたします。

座長： 劍持

それでは、他に「ICS6号」の申請に対して何かご意見等ございますか。

座長： 劍持

全国農業協同組合連合会茨城県本部の益子様お願いします。

全国農業協同組合連合会茨城県本部： 益子

今は稲敷市がメインなのか、今日、出ている現物も稲敷市なのだろうし、検査実績も全て稲敷市だと思いますが、今後どの地域を中心に40、50haとか広めていきたいと考えているのでしょうか。茨城県も県北から県南、県西までありますが、この品種の特性から言って県南地域の暑いところが適正なのか、県北の方で試験などの予定はあるのか無いのかなど、最終的には住友化学さんで県内のどこの地域を中心に作付けを増やしていきたいのか、戦略にもよるのだとも思いますが、県南、県北、県西のデータまではないにしても今後の計画がもしあればお聞きしたいと思います。

座長： 劍持

住友化学株式会社の福地様お願いします。

住友化学株式会社： 福地

本年の実績を申しますと、県南、県西、水戸の周辺それから鹿行地域美野里の辺りまで20数名の生産者の方に作付けしていただいております。将来的には全県広げていきたいと言う事と、この米は業務用を中心にしておりまして集荷をアイアグリ関東さんに協力していただいておりますので、アイアグリ関東さんの店舗のある所に生産者がいらっしゃって、そこの地域を中心に県内全体と言う形で考えております。

座長： 劍持

茨城県食糧集荷協同組合の五位渕様お願いします。

茨城県食糧集荷協同組合：五位渕

5年産で作付面積49.7haと記載されておりますが品種的に検査等級はどうだったのでしょうか。わかれば等級比率など教えていただきたい。

アイアグリ関東株式会社：田島

正確に数字は出してないのですが、3年産は数量が少なかったこともあり1等、4年産に関しては1等、2等が半々位の感じです。5年産に限っては暑さがかなり厳しかったこともあり乳白粒の発現が多く2等、3等が半々と言ったような感じです。

座長：劍持

他にご意見等ございますか。

全国農業協同組合連合会茨城県本部の益子様お願いします。

全国農業協同組合連合会茨城県本部：益子

高温耐性は無いですね。

住友化学株式会社：福地

はい。残念ながらありません。

全国農業協同組合連合会茨城県本部：益子

わかりました。

座長：劍持

他にご意見等はございますか。

茨城県庁の秋田様お願いします。

茨城県農林水産部産地振興課係長：秋田

品種の特性について質問があります。「ICS6号」は育成の系譜を見ますと親が「ほしみのり」と「とよめき」、「とよめき」の両親に「やまだわら」があつて、申請書の方にも「やまだわら」並みに多収になるとか、あとはそういった文言が並んでおりますが、実際のところ「やまだわら」や「とよめき」と比較した場合の品種のポテンシャルなど、どう言った違いがあるのか教えていただけたらと思います。

住友化学株式会社：福地

収量性に関しては、「やまだわら」「とよめき」の多収性を引き継いでおります。品種の特性としましては、縞葉枯病が問題になっておりますので、「とよめき」は感受性があつてそのところを改良するということで「ほしみのり」から抵抗性遺伝子を導入するというような組み合わせとなっております。また、「とよめき」は、農研機構での育成の結果、4-HPPD阻害除草剤感受性ですが、どのような種類の除草剤を使用する生産者にも作ってもらいたいと言う事と、我

々農薬メーカーとして除草剤感受性のものを中々出しにくいと言うような背景もありまして、抵抗性のあるものを選抜しております。

また品種特性として、穂重型で穂数が㎡あたり300本前後位で、草丈は「コシヒカリ」より数センチ低いのですが、これまで茨城県の方で沢山作っていただいた短稈の「つくばSD1号」に比べるとやや高いが、茎が太いため倒れにくい。作りやすさと言う点では倒伏しにくい特性を持っております。

座長： 劍持

他に質問等ございますか。

無いようですので、私の方から何点か質問させていただきたいと存じます。

住友化学株式会社福地様にお伺いします。生産者が栽培する上で問題となる点や注意する点がございますか。

住友化学株式会社： 福地

注意していくところと言うと、穂重型で初期の茎数の確保っていうのはちょっと少ない傾向があります、そのために初期の茎数確保のための栽培管理と出穂期は「コシヒカリ」とほぼ同じ茨城県で言うと中生位の品種になるのですけれども、穂が多いという特性がありまして、登熟期間が「コシヒカリ」よりも1週間から10日位長くかかる傾向があります、また、刈取時期のタイミングが「コシヒカリ」が積算出穂1000度位と仮定しますと1150度位かかるという風に思っております、10日～2週間位、年によってかかってくる、そのあたりの刈取時期の見極めっていうのはポイントかなって思っています。

座長： 劍持

種子の供給は安定してできるようになっているのでしょうか。

住友化学株式会社： 福地

今年の種子の生産としましては、富山県のJAとなみ野、福井県のJA福井県、静岡県の菊川市の平川種子生産組合という3個所で数十トン生産しております、その種子を現在調製中で調整した後、弊社の関連会社である住化農業資材を通して産地の方に販売させていただいているという事で、安定供給の方はできるという事になっております。

座長： 劍持

「ICS6号」の実需者の食味等の評価はどの様なものがありますか。

住友化学株式会社： 福地

昨年位から量が若干多く採れるようになりましたので、昨年サンプルを米卸さんなどで評価させていただいております。外観品質は関東コシヒカリと比較して同等以上という事で、大粒で特徴があって外食産業向けに適しているのではないかと評価をいただいております。また食味に関しても良食味で甘みがあって中々良いという評価をいただいております。

座長：劍持

続きまして、茨城県農業総合センターの中原様にお伺いします。

「ICS6号」について栽培技術、品種の特性など試験場としての情報をお持ちであれば教えていただきたいと存じます。

茨城県農業総合センター：中原

申し訳ありませんが、本品種は当センターでは取り扱った事がないので情報は持っておりません。

座長：劍持

茨城県農林振興公社の信田様、何かございますか。

茨城県農林振興公社：信田

これは、どんどん広がっていくようなイメージ、県内とか県外とか、他の県ではどの辺りに主産地があるのでしょうか。

住友化学株式会社：福地

今年の実績を申しますと、昨年初めて産地品種銘柄を取らせていただきました福井県で数十ha それから新潟県、北は山形から南は鹿児島まで試験栽培しております。全国で今年 100ha を超える位の栽培をしております、来年は 200、300ha というような数字に持っていきたいと思っています。

座長：劍持

茨城県庁の秋田様にお伺いします。

茨城県全体について、「ICS6号」に関し、茨城県の生産振興の観点から何かご見解がありましたらお教え願います。

茨城県農林水産部産地振興課係長：秋田

茨城県庁としましては、農業研究所の中原が申したとおり、県としての試験データを持ち合わせてないので、こちらの品種を、茨城県で普及すべきかすべきでないのかというのは判断に悩むところではあるのですが、申請書にあるとおり茨城県内での作付けが着実に伸びていると言う事ですので、生産者の方々が良い品種だと評価して取り組むのであればそういった取組は進めていただいて良いのかなと考えております。

座長：劍持

全国農業協同組合連合会茨城県本部の片野様、何かございますか。

全国農業協同組合連合会茨城県本部米穀総合課長：片野

ございません。

座長：劍持

私からは以上になりますが、他に何かございますか。

座長：劍持

全国農業協同組合連合会茨城県本部の益子様お願いします。

全国農業協同組合連合会茨城県本部：益子

アイアグリ関東の田島さんに聞きたいのですが、私はこの米を対象品種の「コシヒカリ」と初めて比較したのですが、田島さんが3年産、4年産、5年産と検査をして、明らかに「ICS6号」と言う銘柄を自分自身で見て判断、判定出来ましたか。今年のように猛暑で正常に育ってないって言うのを割り引いたとしても、実際現場で銘柄にはまだなっていませんが品種名「ICS6号」ということで検査をしているのしょうから、検査員として見て判断出来たか、間違いなくこれは「ICS6号」だって自信をもって言えるものなのかどうか、感想で結構ですので、データは無いのしょうから見た感じの思ったままを教えてくださいと有り難いのですが。

アイアグリ関東株式会社：田島

コシヒカリとの比較で考えれば「ICS6号」という判断はできます。また、ほかの銘柄鑑定と同様に根拠となる資料のもとに銘柄判定を行いますので、令和5年産以前の検査については、「その他」扱いにはなりますが、今後、銘柄鑑定を進めていくことは可能だと思います。

全国農業協同組合連合会茨城県本部：益子

当面はアイアグリ関東さんが検査を行い、我々全農がやるなんて話にならないのしょうから、検査を行う登録検査機関がきちっと判定できないような品種ではしょうがない訳ですし、そのところを確認したくてお聞きしました。

住友化学株式会社：福地

過去には筑西のJA北つくばさんに評価はさせていただいております。

座長：劍持

他に何かございますか。

無ければ、意見の取りまとめを行いたいと存じます。

資料1「農産物検査に関する基本要領」の3ページをご覧ください。

「2 銘柄設定の要件」として(1)から(7)まであり、その要件を全て満たした場合に、銘柄として新たに設定することができるとあります。

(1) 農産物検査において、銘柄の鑑定が可能であること、
こちらは、可能であるとお見解をいただきました。

(2) 品種銘柄及び産地品種銘柄は、農産物規格規程に定める品位規格の適用が可能であること、
こちらについても可能であるとお見解をいただきました。

(3) 品種銘柄及び産地品種銘柄は、当該品種が、種苗法第19条に規定する育成者権の侵害の行為を組成するものでないこと、

- このことについても侵害の行為を組成するものではないということを確認しております。
- (4) 複数の品種を一つの品種群について品種銘柄又は産地品種銘柄として同一の銘柄とすることが適当であること、
こちらについては今回該当しません。
- (5) 産地品種銘柄については、当該品種に係る銘柄検査を行う1以上の登録検査機関の見込みがあること、
こちらは申請書のとおり登録検査機関が検査を行う予定であると確認いたしました。
- (6) 水稲うるち玄米における品種銘柄は、別紙2「国内産農産物銘柄設定等申請手続マニュアル」の第6により設定する。
なお、「みつひかり」については、みつひかり2003及びみつひかり2005により品種銘柄を構成するものとする。
こちらについては今回該当しません。
- (7) 大豆の産地品種銘柄については、品種特性の粒の大きさを踏まえたものであること、
こちらは大豆についてなので該当しません。

以上、設定の申請について要件を満たしていると言えますが、皆様の中でご異議がある方はいらっしゃいますか。

皆様ご異議が無いとのことですので、新たな銘柄として申請のありました「ICS6号」について、基本要領に記載されている要件(1)(2)(3)(5)を満たしており、新たな銘柄として設定することが妥当であるという結論に達しましたので、設定に向けての進捗を進めてまいります。

次第5の「その他」ですが、事務局から何かありますか。

事務局：島田

特にございません。

座長：剣持

次第6の「座長及び書記の解任」ですが、皆様のご協力によりスムーズな進行ができました。今後、本日ご検討いただきました設定の申請につきましては農産局長へ申請の手続きを行ってまいります。本日は大変ありがとうございました。

司会：浅川

これもちまして令和6年産茨城県産農産物の銘柄設定等意見聴取会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。